

「志木のまち案内人の会」発足のご挨拶

平成21年7月吉日
志木のまち案内人の会
会長 一ノ倉 達也

このたび私共は「志木のまち案内人の会」を設立し、活動を開始することに致しましたのでご案内申し上げます。

当会は、志木市教育委員会により平成16～20年度に開校された「志木いろは市民大学」(公募の市民運営委員により運営)の講座の中の一つ「ふるさと・まちづくりコース」の講座として、平成20年度に開講された「志木のまちボランティア案内人養成講座(歴史・自然部門)」「あなたも、志木の魅力を再発見し伝えるボランティア案内人になりませんか?」を修了して、「志木のまちボランティア案内人」として認証された受講者並びにその講座の運営委員の有志が、その主旨に沿った活動をボランティアで発展的に継続していこうと、平成21年4月19日の設立の会合をもって総勢18名で正式に発足したものです。

即ち、私達は、志木の歴史や自然、文化や産業などを楽しく学び、志木の素晴らしさを知識として深め、志木の魅力を再発見して、興味と関心のある方々と若い世代の人々に語り伝えることを目的として、活動をして参ります。

その為に今後、私達が住む志木のまちを中心にして、幅広く様々なテーマについて研究し、その魅力を表現する努力を重ね、色々な形でその成果を発表し、ご興味のある方々にテーマに沿って、ご説明及び現地へのご案内を申し上げたいと願っております。

ご承知の通り、志木のまちは、柳瀬川と新河岸川によって台地と低地に分けられます。西南部の台地は武蔵野台地に繋がり、東部の低地は東を荒川の流れて囲まれ、水と緑の中、人と自然が古来より共生してきた歴史豊かなまちであります。

台地には野火止用水跡があり、低地には佃堤・門樋・水塚が洪水・水害の歴史を語っています。特に新河岸川の舟運で江戸と直結した商業都市として発展してきたこのまちは、縄文時代の遺跡から平安時代の伝説、鎌倉時代から江戸時代を経て明治・大正・昭和期にかけての歴史的な文化遺産や民俗資料、民話がたくさん残る素晴らしいまちであります。

私達の住む志木が如何に素晴らしいまちか、志木に新しく住む方、志木を訪ねる方、又志木に長く住む方々に伝え、また学びあえたらと願っています。

当会の主旨に賛同して会員になりたい方を歓迎致します。また、ご興味のあるテーマについて当会にご照会を賜ればよろこんでのご案内などの対応をさせていただきます。

どうぞ私達の活動にご理解を賜り、末永く温かいご支援をお願い申し上げます。

以上